

アトムリビンテックは好決算銘柄

4月にはイベント開催

自社開発品を主体に家具・建物金物、住宅用内装金物全般を手掛けるアトムリビンテック（3426・JQ）は買い場探しの好業績銘柄として注目できる。

1月30日に発表した第2四半期業績は、事前に発表した増額修正に沿った、前年同期比15・8%増収、46・1%営業増益という2ケタ増収益。ソフトクローズ関連商品の拡充強化と市場への浸透、販路拡大に取り組んだ成果が出た。今6月期通期は売上高91億1000万円（前期比8・2%増）、営業利益5億8000万円（同16・4%増）、経常利益6億1000万円（同14・1%増）と当

初予想を据え置いた。消費税引き上げの反動や住宅市場を取り巻く事業環境の不透明感を考慮したもの。しかし、通期営業利益予想5億8000万円に対して第2四半期営業利益実績は4億170

0万円と高い進捗（しんちよく）率からすると、業績情報修正の期待は大きいと考えられる。

第4四半期冒頭の4月には「春の新作発表会」というイベント開催を控えている。増額修正の発表後に急騰した反動で株価は一服しているが、1000円台をキープする株価はPBR1倍割れで見直し余地がある。（Z）